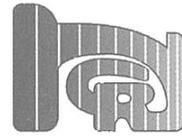


フィリア・レター

～真の友人からの手紙～



発行所:中部ろうさい病院

〒455-8530

名古屋市港区港明1-10-6

TEL 052-652-5511

FAX 052-653-3533

<http://www.chubuh.rofuku.go.jp/>



新しい龍の年を迎えて

院長 吉田 純

昨年は震災で始まり、放射能汚染で終わった激動の一年でした。市民の皆様方にとって心が痛む年だったと思います。しかしその一方で、日本人としての「心と絆」を強く感じた年でした。そして今年は何の復興の年です。東日本大震災、福島原発事故からの復興であり、また20年間続いたデフレ不況から脱却する復興であり、また崩壊しつつある社会保障制度の再構築の年です。政府は税と社会保障の一体改革を打ち出していますが、痛みを伴う改革です。全国民の英知の結集と協力によってのみ成し遂げられる事業であり、当院では医療をしっかり支えていきたいと思っています。

当院は生活習慣病を始めとする勤労者医療、慢性期医療を中心とする病院としてスタートしました。糖尿病および脊髄損傷疾患に於いては、長い歴史の中で築き上げられた多分野、多職種連携によるチーム医療に支えられ、東海地区でもっと進んだ医療を提供しています。そして今年、こうした医療体制を脳卒中、心臓病、呼吸器病、消化器病等にも拡

大・充実させる目的で、新たに専門医療センター構想を職員の絆の下で実行する年にしたいと思っています。さらに当院は昨年9月に地域医療支援病院として承認されました。地域の中核病院として、これまで以上に、病病連携、病診連携を進め、地域医療の機能分化と連携の構築に貢献していきたいと思っています。また一方で、地域医療は病院、医師中心の医療ではなく、患者・市民中心の医療であります。がんの緩和ケアはじめ、介護福祉そして高齢者や認知症患者の健康管理についても、かかりつけ医の先生方、行政等の関係者と共に生活支援を行う地域包括ケアに積極的に参加していきたいと思っています。

また当院は愛知県がん診療拠点病院であります。新しい外科手術の開発や連携パスによる連携事業を進める一方、がん治療をテーマに3月25日午後、白鳥の国際会議場にて市民健康セミナーを開催いたします。多数の皆様方のご参加をお待ちしています。

最後になりましたが、地域の市民の皆様方、本年も何かとお世話になりますが、どうぞよろしくお祈りいたします。

今月号のお知らせ

- ①新しい龍の年を迎えて
.....院長 吉田 純
- ②目の前で人が倒れた時にすぐに対応できるようにしたい
.....救急看護認定看護師 酒井 麻希子
- ②手術についての心配事、ご相談下さい。
.....手術看護認定看護師 米村 雅美

③私の車いす生活

.....平良 隆志

④第2回白鳥市民健康セミナー開催のお知らせ

④編集後記

④当院の理念・当院の基本方針



目の前で人が倒れた時にすぐに対応できるようにしたい

救急看護認定看護師 酒井 麻希子

もしも意識を失って倒れている人に出会ったら、なんとか助けたい、この人のために何かしてあげたいとみなさん思われるでしょう。しかし、その人に何をすればよいかわからず、おろおろとしてしまいませんか。そのような時はすぐに救急車を呼んでください。でも救急車はすぐには到着しないことがあります。そんな時にそばにいる人ができること、それが救急蘇生法(一次救命処置)です。消防署などで講習会が開かれていますが受けたことがありますか？

病院の中でも入院している患者さんが急変したり、外来受診されている患者さんが

急に倒れたりすることがあります。そうした場合に、その場に居合わせた病院の職員が適切に一次救命処置をできるよう講習会を開いています。はじめて胸骨圧迫(心臓マッサージ)や人工呼吸をしたりAEDを使ったりすることは職員でも不安が大きくなり緊張してしましますが、人形を使って何度も練習すると1時間後には上手にできるようになります。

いつどこで緊急の場面に出会うかわかりませんので、このような救急蘇生法を学ぶ機会がありましたら、みなさまもぜひ参加してみてください。

手術についての心配事、ご相談下さい。

手術看護認定看護師 米村 雅美

手術は一生のうちで何度も経験するものではありません。また、手術の大小を問わず体にメスを入れるという行為は、生命を脅かすものと言えます。手術が決定してからその日が近づくにつれて、心配事がどんどん増えていくようなことがあるかもしれません。「手術室ってどんな所だろう」「どういう風に手術が進んでいくの?」「何を準備しておけばよいのか」「どんな麻酔で手術を行うのか」「麻酔が痛いって聞いたけど…」「手術後はどれくらい痛いのかな」「痛みの対処法はどうしたらよいのか」「手

術の後はどれくらいで動けるのか」「手術後、家に帰ってから何か起こった時には?」などなど。少しでもそのような心配事を解決してもらうために、手術看護認定看護師がいます。普段は手術室で勤務しており、患者さんのすぐそばで少しでも安心して手術が受けられるように、看護にあたっていますが、手術に関わる全ての事に携わっています。手術について何か不明な点、心配事がありましたら、いつでもご相談下さい。病棟・外来を問わず訪問させていただきます。

★「フィリア・レター」は、中部ろうさい病院が、患者さまに向けて当院の現況や新しい医療情報などを発信したり、患者さまの建設的な意見を反映する広場として発行しています。

私の車いす生活 ～中部ろうさい病院を退院して～ リハビリテーション科・社会生活講座より

もう褥瘡はつくりたくない! ～日々の褥瘡対策あれこれ～

平良 隆志 42歳・会社員・胸髄損傷

**車いす生活のはじまり**

私は、工作中5階建てのビルの4階から転落して、胸髄12番を損傷しました。すぐ病院に運ばれ、約13時間にもよる大手術をしました。手術後、先生から一生車いす生活だと言われた時は、ものすごくショックを受けました。約4ヶ月入院し、中部労災病院に転院して来ました。

リハビリ等に専念し、ケガから約1年たった頃、車いすマラソンをやっていたOさんと出会い、退院後、車いすマラソンを始めました。それから、入院が一緒だった仲間達とチームを作り、テニスもはじめました。車いすでのスポーツは初めてで、できるのか不安はありましたが、週3回の練習の積み重ねで、大会に参加出来るまでになりました。



その後、仕事も始め、仕事とスポーツと精力的に活動していましたが、平成18年から約2年の間に、褥瘡の手術を3回経験しました。

3度の入院と手術

最初は、40度位の熱が出ました。その頃は冬でしたので風邪を引いたのかと思い、何とか仕事もこなしていましたが、1週間、10日位たっても熱が下がらず、中部ろうさい病院で診察を受けました。

お尻に傷があるわけでもないし、リハビリ科、外科、泌尿器科の診察を受けましたが、異常が見つかりませんでした。最後に形成外科で診察していただいた結果、お尻の坐骨部分に出来物があり、メスで切ったところ大量のウミが出てきました。その日は処置のみで自宅に帰りましたが、熱が一向に下がらず、入院しました。

約3ヶ月の入院生活の始まりです。褥瘡専門のY看護師に、褥瘡が出来た原因について聞かれました。考えられる事は、仕事とスポーツのあい間に、プッシュアップをまったく行なわなかった事。車のトランクから車いすや荷物等を積み降ろす時に、トランク部分にクッションなど何も敷かず座っていた事。また、車体の高い自家用車に乗

り降りする際、一回で乗りきれず、お尻をすりながら乗っていた事。また、降りる時は、車いすにドスンと降りていた事、などです。

その後、先生方と改善策を考え、無事に退院しました。退院してから1ヶ月後、テニスの大会に参加したら優勝しました。そして週1の診察の日、診察室の机の上を見ると、カルテと一緒に新聞の切れ端がありました。自分自身が参加したテニス大会の記事です。私の名前が大きくのっていたのでY看護師にバレました。スポーツは止められていたので激怒されました。

その後5ヶ月位たったころ高熱が出ました。嫌な予感がして、その日に診察していただいた結果、手術した同じ所が再発してしまい入院となりました。2度目の入院・手術と言う事もあり、2～3ヶ月も寝たきりの生活はこりごりと思ったり、家族にもこれ以上迷惑をかける訳にもいかないと、退院後はスポーツはもちろん、仕事も休職をもらい、先生方のお許しが出るまで自宅でおとなしく生活しました。ようやく半年の月日がたった頃、坐骨部分が500円玉位の大きさに腫れ上がっているのを発見し、翌日に病院で診察をしていただいた結果、ウミが溜まり再発している事が分かりました。

3度目の入院となり、家族からは「お父さんは住民票をろうさい病院に移したら」と冷たい言葉ももらった事もありました。3度目の手術とあって、坐骨部分の肉も移植する皮膚もなく、太股から移植する事を先生方に告げられました。

そして3度目の手術も無事に終わり、先生方のアドバイスにより、ベッド用マット、車いす、自家用車、お風呂マット、トイレ用マットについて検討しました。そして、プッシュアップを行なうようにし、お風呂上がりにはベッドの上で鏡でお尻部分を見るよう心がけました。車いすからベッドやトイレ、車などに移る際には、勢いよく移るのではなく、ぶつけないようにゆっくりと移るよう心がけて下さい。万が一ぶつかったりした時は、すぐに鏡で見えない部分を見て下さい。赤くなったり青白くなった時には、すぐに病院で診察してもらう事をおすすめします。

*** リハビリテーション科・社会生活講座とは ***

入院患者さん向けの生活支援応援会。社会復帰して活躍されている脊髄損傷者の方に、地域社会での生活について情報提供してもらうピアサポートの場。患者さん・ご家族の元気力アップと悩み解決に役立つ講座となるよう活動しています。

★中部ろうさい病院のホームページで、〈病院の情報〉〈フィリア・レター〉〈ろうさい病院つうしん〉がご覧いただけます。携帯電話からもアクセスできます。どうぞ、ご利用ください。

第2回白鳥市民健康セミナー 開催のお知らせ

がんをテーマとした第2回白鳥市民健康セミナーを開催致します。

テーマ:「がん医療の最前線 予防から社会復帰まで」(仮)

日時:平成24年3月25日(日)

14:00~16:30

会場:名古屋国際会議場 白鳥ホール

定員:440名

詳細が決まりましたら、おってご連絡いたします。

~~ 編集後記 ~~

新年あけましておめでとうございます。

新しい年を迎え、今後もますます患者さんにとって良い病院であるように職員一同頑張っ
てまいりますので、これからもよろしくお願い致します。

当院の理念

皆さんとの出会いを大切にし、苦しみ
を分かち合い、健康で潤いある生活を送
れるよう職員一同努めます。

当院の基本方針

- ・医療の質の向上と安全管理の徹底
- ・生命の尊厳の尊重と患者さん中心の医療
- ・人間性豊かな医療人の育成と倫理的医療の遂行
- ・地域社会との密な連携と信頼される病院の構築
- ・災害・救急医療への積極的な貢献と勤労者に相
応しい高度医療の提供

